

事務事業名	社会科副読本・わたしたちの南アルプス市作成事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12529					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	南アルプス教育推進課	課長名	飯窪 俊貴					
			所属担当	教育指導担当	担当者名	内藤 大輔					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	10	01	02	020	82	
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業	<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業	<input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業	<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	法令根拠								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	小学校3・4年生の社会科の授業における地域学習の学習資料として、南アルプスの農業、商業、工業などの産業、また消防、警察、水道事業などくらしを守るしくみ、市の公共施設や文化財の案内等を載せた副読本を作成する。市内小学校3、4年生に3年分をみこした2,600部を作成、各校に配布する。道路や商業施設の変更などもあり、3年に一度改訂作業を行いながら、本事業を進めている。本年度、平成27年度版の改訂作業を進めているが、次回は平成29年度に改訂作業となりあらためて5,000(千円)程度の予算を計上する。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				印刷製本費	4,774						計

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容	年に4回副読本調査編集委員会を行い、写真の変更、文章の校正など、27年度版副読本の改訂を行う。
	27年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内小学校3、4年生	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	2600冊、概ね170ページ両面印刷の副読本を市内の小学校3、4年生に配布する。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	小学校学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標である 地域の産業や消費の様子、人々の健康な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚を持つようになる。を達成できるようにする。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	ア	副読本調査編集委員会	回
	イ	作成冊数	冊
	ウ		
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	ア	小学校	校
	イ	3年を見越した3、4年生の児童数	人
	ウ		
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	ア	小学校	校
	イ	作成冊数	冊
	ウ		
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	ア	3年を見越した3、4年生の児童数	人
	イ		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円			4,900			5,000		
		事業費計(A)	千円	0	0	4,900	0	0	5,000	0	
	人件費	正規職員従事人数	人			2			2		
		延べ業務時間	時間			20			20		
		人件費計(B)	千円	0	0	91	0	0	91	0	
		(A)+(B)	千円	0	0	4,991	0	0	5,091	0	
	活動指標	ア	回			4.0					
		イ	冊			2,600.0					
		ウ									
	対象指標	ア	校			15.0					
		イ	人			2,600.0					
		ウ									
	成果指標	ア	校			15.0					
		イ	冊			2,600.0					
		ウ									
	上位成果指標	ア	人			2,600.0					
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	南アルプス市合併前は旧町村で独自の社会科副読本をつくっていたが、平成15年南アルプス市誕生後、ほぼ3年に一回の改訂作業を行っている。今回で3回目の改訂となる。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	3Dの写真や動画機能(AR)など、学校のタブレット端末に対応するコンテンツを盛り込む。様子をみながら、次の3年後の改訂に活かしていく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	南アルプス市を知り、愛着を持つといった視点で、大変有効であるといった声を聞く。他市と比べ、非常にクオリティが高いと評判である。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	3Dの写真や動画機能(AR)など、学校のタブレット端末に対応するコンテンツを盛り込む。また電子黒板に対応できるよう電子ブック形式のものもつくる。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	社会科副読本・わたしたちの南アルプス市作成事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 南アルプス市の自然や産業を知り、南アルプス市に愛着持つ子が増えるきっかけになっている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 教育行政の役割として、地域の実態に応じた教育施策を策定し、実施することが求められている。各学校の教育に市教委教育担当が関わり最小限の予算によって大きな成果が期待できる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 3, 4年生の社会では地域学習を行う。地域に愛着を持つ子を育てるために必要な事業である。今後も道路や商業施設などの変化も考え、3年に一度の改訂が妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 3, 4年生の社会の教科書は神奈川県の小田原など別の地域をモデルとしている。子どもとして身近な南アルプス市の事例が掲載されている副読本は今後も必要である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 選考委員会などを通して、業者を決めているが、同じ事業を続けていく場合、今年度並みの5,000千円程度の予算は必要である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の人件費で行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市立小学校の子であれば、3年生で必ず無料で受け取ることができる。南アルプス市のことを学ぶ有効な教材である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	小学校社会科の学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標である「地域の産業や消費の様子、人々の健康な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚を持つようにする。」を達成するために、有効である。今後も公共施設や道路・商店、統計などは常に変化しているので3年に1度の改訂は必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 次期改定の3年後を見据え、使ってみての先生方の感想や写真等の充実を図り、同予算内でさらなる副読本の充実を図りたい。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 上記改善に努める。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					